

No. _____

太線枠内の質問事項にご回答ください。

フリガナ 氏名	男・女	生年月日	年	月	日	歳	
身長	cm	体重	kg	血圧	/	降圧薬服用	有・無

該当する項目に○をつけてください。

1) 大きないびきをかきますか？ (話し声よりも大きいか、あるいは扉を閉めた寝室の外でも聞こえる程度)	はい	いいえ
2) しばしば疲労や倦怠感、昼間の眠気を感じますか？	はい	いいえ
3) 睡眠中に呼吸が停止しているのを他の人から指摘されたことがありますか？	はい	いいえ
4) 高血圧ですか？あるいは現在、高血圧の治療を受けていますか？	はい	いいえ

もし、以下の状況になったとしたら、どのくらいうとうとする（数秒～数分眠ってしまう）と思いますか。最近の日常生活を思いうかべてお答えください。

以下の状況になったことが実際になくても、その状況になればどうなるかを想像してお答え下さい。

1～8の各項目で、○は1つだけ。すべての項目にお答えしていただくことが大切です。

できる限りすべての項目にお答えください。

	うとうとする可能性はほとんどない	うとうとする可能性は少しある	うとうとする可能性は半々くらい	うとうとする可能性が高い
1) すわって何かを読んでいるとき (新聞、雑誌、本、書類など)	0	1	2	3
2) すわってテレビを見ているとき	0	1	2	3
3) 会議、映画館、劇場などで静かにすわっているとき	0	1	2	3
4) 乗客として1時間続けて自動車に乗っているとき	0	1	2	3
5) 午後に横になって、休息をとっているとき	0	1	2	3
6) すわって人と話をしているとき	0	1	2	3
7) 昼食をとった後(飲酒なし)、静かにすわっているとき	0	1	2	3
8) すわって手紙や書類などを書いているとき	0	1	2	3

(医師記入用)

STOP-Bang Questionnaire

項目該当

Snoring	いびきがある	
Tired	疲れやすい	
Observed stop breathing	無呼吸を指摘される	
Pressure	高血圧	
BMI \geq 35	肥満	
Age \geq 50	50歳以上	
Neck size > 43cm (for Male)	首が太い	(cm)
Gender = Male	男性	

3つ以上該当者に睡眠時無呼吸検査を行った結果93%がOSA (AHI>15)

Frances Chung, Hairil R Abdullah, Pu Liao, STOP-Bang Questionnaire: A Practical Approach to Screen for Obstructive Sleep Apnea. Chest. 2016 Mar;149(3):631-8.

Epworth Sleepiness Scale (ESS)

点

< 5 : 日中の眠気少ない 5~10 : 日中の軽度の眠気あり 11≦ : 日中の強い眠気あり・睡眠障害の疑いあり

Johns M W, A new method for measuring daytime sleepiness: the Epworth sleepiness scale. Sleep. 1991 Dec;14(6):540-5.

Mallampatiの分類

Class I · II · III · IV



Class I

軟口蓋, 口峽, 口蓋垂先端, 扁桃が可視



Class II

軟口蓋, 口峽, 口蓋垂の一部が可視



Class III

軟口蓋と口蓋垂基部が可視



Class IV

軟口蓋が完全に不可視

クラスがあがるほどOSA (AHI >10)のリスク大

Jason L Yu, Ilene Rosen, Utility of the modified Mallampati grade and Friedman tongue position in the assessment of obstructive sleep apnea. J Clin Sleep Med. 2020;16(2):303-308.

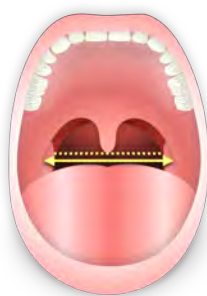
Brodskyの分類

0 · +1 · +2 · +3 · +4



0

扁桃腺の欠如もしくは不可視



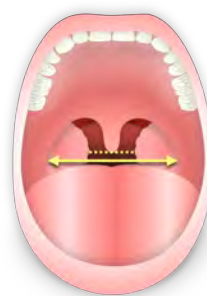
+1

口峽幅径に扁桃腺が占める割合が25%以下



+2

口峽幅径の26~50%を扁桃腺が占める



+3

口峽幅径の51~75%を扁桃腺が占める



+4

口峽幅径の75%を超えて扁桃腺を認める

クラスがあがるほどOSAのリスク大

Brodsky L, Modern assessment of tonsils and adenoids. Pediatr Clin North Am. 1989 Dec;36(6):1551-69.